

## The Word Today

No.1004 墮落

ダグラス・シュレーダー牧師

罪と死は、深く結びついています。この二つを切り離して、どちらか一方だけを論じることはできません。罪がなければ死ぬことはありません。罪人であるゆえに、死を避けることができないのです。

イエス・キリストの福音を語る時、私たちは罪ある者であるゆえに、罪と死からの救いがどうしても必要だということが前提になります。ローマ人への手紙 5 章 12 節以下に、次のように書かれています。

そういうわけで、ちょうどひとりの人によって罪が世界に入り、罪によって死が入り、こうして死が全人類に広がったのと同様に、——それというのも全人類が罪を犯したからです。というのは、律法が与えられるまでの時期にも罪は世にあったからです。しかし罪は、何かの律法がなければ、認められないものです。ところが死は、アダムからモーセまでの間も、アダムの違反と同じようには罪を犯さなかった人々をさえ支配しました。アダムはきたるべき方のひな形です。ただし、恵みには違反の場合とは違う点があります。もしひとりの違反によって多くの人々が死んだとすれば、それにもまして、神の恵みとひとりの人イエス・キリストの恵みによる賜物とは、多くの人々に満ちあふれるのです。

シナイ山で神の律法が正式に与えられる前も、人々の心は神の御心を知っていた、とパウロは言っています。人を殺したり、盗みを働いたりすることは悪いことだと人々は知っていました。十戒やイスラエルの人々に対する律法を、神が正式に与えておられなかったときにも、人々は死にました。罪の結果は、すでにありました。人の罪の結果、死は、今日の私たちをも支配し続けています。罪の結果は明らかです。あなたは、不完全で罪人だから、死にます。私たちが罪と死を取り除けばよいのですが、私たちにはできません。だから、私たちにはイエス・キリストという仲介者が必要です。私たちが贖うには、神の助けが必要なのです。

罪は偶然に世に入ったのではなく、ある意志の働きがありました。厳密に言うなら、罪はサタンによって世にもたらされたのです。神とサタンは宇宙規模の戦いをし、いわばその戦いの副産物として、人間の現状があります。サタンは神への仕返しとして、神が創造された良いものである私たちを滅ぼそうとし

たのです。それで、サタンは私たちに罪の墮落をもたらすために、霊の戦いを仕掛けてきたのです。罪はあなたが取り除けるようなものではありません。罪はあなたの命を支配します。ちょうど重力のように、全存在を支配します。重力は宇宙の法則で、それを、私たちは日々経験しています。たとえば、あなたが木に登り、4、5メートルの高さから、「重力は存在しない。私には何の影響も与えないから、私は飛べる」と叫んで、木から飛び下りたなら、すぐに地面にたたきつけられ、骨を2、3本折り、自分は間違っていたとわかります。

同じように、罪は抗しがたい力を私たちに対して持っています。罪とは反対の力で反撃するのでなければ、罪の結果を受けます。重力によって、地面にたたきつけられるように、罪によって、私たちは苦しみ、死にます。だから、私たちにはイエス・キリストが必要なのです。死に打ち勝つ力を持つ方が必要なのです。それで、ローマ人への手紙5章15節で、イエスによって与えられる救いを賜物と呼び、その賜物は違反とは異なる、と言っています。救いの賜物と違反ほどまったく正反対のものはありません。人間の罪深さは、イエス・キリストの義や聖さとはかけ離れています。その結果、人間の罪は死をもたらします。イエス・キリストの聖さと義は赦しと永遠の命をもたらします。

ローマ人への手紙7章で、私たちはイエス・キリストの力によってこの罪の力に対抗すべきことが教えられています。7章21節からです。

そういうわけで、私は、善をしたいと願っているのですが、その私に悪が宿っているという原理を見いだすのです。すなわち、私は、内なる人としては、神の律法を喜んでいのに、私のからだの中には異なった律法があって、それが私の心の律法に対して戦いをいどみ、私を、からだの中にある罪の律法のとりこにしているのを見いだすのです。私は、ほんとうにみじめな人間です。だれがこの死の、からだから、私を救い出してくれるのでしょうか。私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します。

私たちが生きている間、罪はこのように圧倒的な影響力を私たちに対して持ち、私たちの思いを墮落させ、おぞましく、卑劣なことをさせるという事実を、パウロは認めています。実際、この番組を聞いている皆さんの中には、大きな罪を犯したために、神はあなたを拒み、あなたには希望がない、「良い」人だけが天国に行けるのだからと思っている人がいるかもしれません。けれども、実は、神の前で正しい人は一人もいません。神の御心に反することをしたことはないと言える人は誰もいません。あなたが過去にどんな罪を犯したかは問題ではありません。

今、あなたは過去の罪の結果に直面しているかもしれません。あなたがして

しまったこと、あるいはすべきなのにしなかったことの結果を負って生きているかもしれません。けれども、あなたはイエス・キリストによって、神の赦しを受け、新しくなることができます。神は、あなたを「きれいにする」と言ってもよいでしょう。新しい希望や新しい目的を持つことができます。神の栄光のために生き、これまで慣れ親しんだ世的なやり方や考え方に従う必要はなくなります。これは、「新しく生まれる」と言われます。救い主イエス・キリストを受け入れるとき、私たちは神のために生きることができるようになり、罪と死の力を打ち負かせるようになります。ですから、パウロは、「私たちの主イエス・キリストのゆえに、ただ神に感謝します」と言うのです。7章の終わりから、8章の初めにかけて、彼は続けて言っています。

ですから、この私は、心では神の律法に仕え、肉では罪の律法に仕えているのです。こういうわけで、今は、キリスト・イエスにある者が罪に定められることは決してありません。なぜなら、キリスト・イエスにある、いのちの御霊の原理が、罪と死の原理から、あなたを解放したからです。

パウロは、私たちに働きかける二つの力がある、と言っています。重力のように、罪の力が私たちに働いています。罪の力から、逃げたり隠れたりすることはできません。罪は確かにあり、心や体を破壊しようとしみます。罪の力に対抗するには、さらに強い反対の力が必要です。それが、パウロの言う「いのちの御霊の原理」です。いのちの御霊の原理が、イエス・キリストにあってあなたを自由にするのです。

イエスにある自由について、私たちはどれほど神に感謝しても、感謝しすぎることはありません。かつては無力で絶望的だった私たちが、イエス・キリストにあって、罪に対処する方法を得たのです。かつてはサタンと死の支配下にあった私たちが、イエス・キリストを受け入れることで、神のご支配のもとに移されたのです。もはや罪の奴隷ではありません。神の御霊と共に生きることができ、悪い願望や世的な関心事に仕えるのではなく、神に仕えることができます。

キリスト信仰のすばらしいところは、新しい生きる目的や願望が与えられ、人生の指針や意味が与えられることです。とはいえ、罪に対する戦いは続いていることを意識していなければなりません。そのことを、パウロは、「神を喜ばせることをしたいのに、自分がしたくないことをしている」と言うのです。そうです、私たちにはそのような葛藤が常にあります。けれども、私たちの内におられるイエス・キリストの力によって、それらに打ち勝ち、神に仕えることができます。私たちは罪に屈することなく、罪に抵抗して戦うことができるの

です。

神は、神のあわれみのゆえに、私たちにイエス・キリストにある赦しを与えられます。罪の力は死です。罪は私たちに死をもたらします。けれども、イエス・キリストにある神の力は、私たちに回復と新しい命を与えます。

罪との戦いがあります。罪は死をもたらします。けれども、イエス・キリストのもとに来て、イエスに自分を明け渡すなら、神の力を受け、罪に縛られるのではなく、神に栄光を表す、義なる生き方をすることができるようになります。そして、神と共に永遠に生きることを待ち望むようになります。この世において、それ以上に喜ばしい感情があるでしょうか。罪によって支配される必要がないという確信を持つことができます。罪によって、あなたもあなたの周りの人々との関係も台なしにされる必要はありません。イエス・キリストにあって、あなたは新しく生まれることができます。聖霊の力によって生き、神に栄光を帰する、新しい人になることができます。